

単元名 **たいわのれんしゅう**配当時間 **3時間**

単元の目標 (1) 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。  
 (2) 相手に伝わるように, 話す事柄の順序を考えるとともに, 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞くことができる。  
 (3) 話す事柄の順序を考え, 道案内をしようとする。

## 標準的な展開例

02010202\_001

【教材名】 ことばでみちあんない (上 P. 112～P. 113)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 道案内することのよい点と難しい点を話し合う。  <b>★</b>分かりやすい道案内の仕方を見付けよう。          ○これまでに道案内した経験を思い出し, よかったことや難しかったこと, 困ったことを話し合う。          ○学習課題を確認する。</p> <p>2 みどりさんの道案内の仕方を考える。          ○みどりさんの案内したとおりに地図で待ち合わせ場所を確認し, たどり着けるか確認する。          ○みどりさんの案内で, 分かりにくかったところを発表する。          ○正しく伝えるためのポイントを考える。</p> <p>3 友達と道案内をし合う。  <b>★</b>分かりやすい道案内をしよう。          ○グループで道案内ゲームをする。          ○待ち合わせ場所を確認する。          ○学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道案内の経験がない場合, 学校の一つの部屋を知らない人に案内する例を出すなどして, そのよさや難しさをイメージしやすくする。</li> <li>・自分の説明で分かりやすく道案内できるようにすることを確認させる。</li> <li>・最初に聞き手には地図を見せずに道案内を聞かせ, その後地図を見て待ち合わせ場所にたどり着けるかを確認させてもよい。</li> <li>・教科書(P. 112)の挿絵を使い, どのベンチが正しい待ち合わせ場所か考えさせる。</li> <li>・分かりにくかったり, 迷ってしまったりしたところなどを発表させるだけでなく, なぜ分かりにくかったのか理由も付け加えさせる。</li> <li>【評】 分かりやすい道案内の仕方を考える活動を通して, 共通, 相違, 事柄の順序などの情報と情報との関係を理解する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・初めに案内する場所を伝えること, 目印になるものを入れて説明すること, 左右を正確に伝えるとよいことに気付かせる。</li> <li>・道案内する児童のみ地図を見て案内し, 他の児童はメモを取るようにする。</li> <li>【評】 分かりやすく道案内する活動を通して, 話す事柄の順序を考えて相手に伝わりやすく話す「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・それぞれが道案内を聞いて待ち合わせ場所だと思ったところを発表し, 案内が分かりやすかったか確認する。</li> <li>【評】 道案内を聞く活動を通して, 相手が伝えたいことや自分が聞きたいことを落とさずに聞く「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・自分の家から学校までの道順を説明する活動を取り入れるなどして, 目印になるものや曲がる場所, 方向を正しく伝えないと分からないことを確認させる。</li> <li>【評】 自分の知っている道の案内を通して, 話す事柄の順序を考え, 分かりやすく道案内をし合おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】